

RE:START

2025/11/1 No.5
JR東労組 青年連絡協議会
発行責任者 宮下 洋介

青年連絡協議会アンケート実施中!!

次々に年末手当に対する「本音」の意見が寄せられています!①

私たちは会社の利益を上げるための道具ではありません。職場現実や現場で働く社員と会社経営幹部との間には大きな乖離がある。現実をどのように把握しているのか。言葉だけではなく回答で示すべきだ。

第1四半期決算は好調。鉄道営業収入も伸びている。この頑張りに報いなければ、モチベーションはさらに低下、離職にも歯止めがかからないという危機感がある。また、物価上昇、実質賃金の低下で生活も厳しい。社員・家族の生活も生活を守っていくべきだ。

会社は社員の努力に報いるべきだ。過去最高の働き度を提供しているのにその努力に報いない姿勢は許せない!

コロナ前に戻っている。これまでも様々な形で抑制され続けてきた。職場では要員も足らず休勤が当たり前の職場実態。
1人が二役・三役業務しているのが当たり前の現実である。会社が利益を上げることができているのは現場で働く社員の努力があってこそだ。社員の賃金から搾取することは納得がいかない。満額回答するべきである。

融合と連携を担い、営業収益や経常、純利益を伸ばしているのは、間違いなく、組合員・社員の頑張りがあってこそだ! 満額回答でこたえるべきだ!

会社は声を受け止めて、満額回答でこたえるべきだ!



業務部速報
No. 51
発行 25. 10. 16
JR東労組 業務課

申6号
2025年度年末手当に関する申し入れ
10月16日提出!

**基準内賃金の
3.7ヶ月**

支払いについて 2025年12月5日まで
回答について 2025年11月11日から14日まで

全系統で慢性的な要員不足を抱える中、「融合と連携」による更なる多能化や労働強化が進み、「過去最高の働き度」との労働実態は変わらない!労働環境も厳しい中、輸送障害や自然災害など異常時においても、全系統の組合員・社員が全力で対応している!

組合員・社員のモチベーションの維持・向上および人材の確保と定着を実現するために、「賃金は労働条件の最たるものである」という労使の共通認識を踏まえ、組合員・社員の努力と奮闘を受け止め、それに報いる経営姿勢を示すべきだ!

2026年3月期第1四半期連結決算は5期連続の増収。四半期純利益は増収で増収増益!単体決算も増収増益となり、職場の日々の奮闘の結果、好調な業績である!2025年度上半期鉄道営業収入についても、定期・定期外ともに対前年を上回り、合計104.7%となる好調な収入で推移している!

会社は満額回答できる支払い能力は十分にある!
満額回答を勝ち取るため、共にたたかおう!